

平成 26 年 2 月 14 日 「日頃の感謝をこめて...ウサビのバレンタインデー」

掲載日:2014 年 2 月 14 日

平成 26 年 2 月 14 日 「日頃の感謝をこめて...ウサビのバレンタインデー」

年があけて半月ほど経った頃、ウサビが不意に弟子に言いました。

ウサビ 「2月14日...何の日か知ってる？」

弟子 「(私からの)チョコ、欲しいんですか？」

ウサビ 「違う。その日はウサビが日頃の感謝を込めて役場職員にチョコを配る日なんだよ」

()内はココロの声です。



昨年の 2 月 14 日、ウサビは自作チョコを同僚に配りました。

ウサビ 「こうしておけば、今後ウサビがどんな暴挙に出てもみんな大目に見てくれるだろう。
いわば袖の下だ」

弟子 「…(バレンタインデーって告白とかする行事なのに…)」

ウサビ 「弟子は(一応)女の子だし、今年のチョコレートは弟子が考えて用意してね☆代金
はもちろんボクが払うから」

本企画のチョコはウサビが自費で用意しています。町の税金を使っているわけではない。

弟子 「そういう時だけバレンタインを悪用して…はぁ…」

師匠から今年初の指示はバレンタインチョコづくり…

困った弟子は、朝日町内のお菓子屋さんにご相談してみることにしました。



まずは常盤地区、「ブランデーケーキ」や「朝日ゆべし」「しんちゃんクッキー」

が人気の[新光堂](#)へ(地図は[>>こちら](#))

相談してみましたが、バレンタインチョコは難しいとのこと…

弟子 「どうしたらいいかなあ…」

新光堂のお母さん 「すぐ、その西松屋さんで聞いてみたらどう？」



注:朝日町の西松屋はあのウサギのロゴマークのお店とは関係ありません。

常盤地区は[新光堂](#)と[西松屋](#)を擁する菓子業激戦区…

新光堂のお母さんのアドバイスに従い、次は西松屋を訪問します。

弟子 「…町内のお菓子屋さん全部ダメだったらチロルチョコを配ろう…」



ダメ元で西松屋菓子店(本店)へ向かいます。([西松屋周辺地図](#))

西松屋菓子店は[ヒグチバイパス店](#)内にもあります。



店主：白田光郎さん、孫の常次さんが相談に応じてくれました。

常次さん 「(弟子が持ってきた資料を見て)これは…」



常次さんが目を止めたのはウサヒのファン(?)が作ったケーキ(の画像)

常次さん 「これを素人の方が…これは…負けられない…」

こうして常次さんのパティシエ魂に火がつき、バレンタイン企画のチョコづくりは西松屋さんが引き受けて下さることになりました。

弟子 「どんなチョコにしましょ…あっ！これいいんじゃないですか？」



朝日町のピアドパパ(本店でシュークリームを注文すると目の前でクリームを詰めてくれる。)西松屋のシューラスク

常次さん 「シューラスクはシュークリームの皮をカリッカリに焼いてチョコでコーティングした商品だよ」

弟子 「ピンク(苺チョコ味)の！これに目や鼻をつけてウサヒにできないかな？」

常次さん 「(気軽に言うけど…)分かった。やってみるか！」

そして迎えた2月12日…西松屋本店にウサヒの弟子が伺うと…



ダンボールいっぱいチョコレートが！！

弟子「すごい！ありがとうございます！」

常次さん「三日三晩、家族総出で頑張ったよ。でもこんなもんじゃないぞ」



さあ、見よ！と言わんばかりの西松屋白田一家

弟子 「うわぁ、すごい！108個(ウサビの煩惱の数)作って頂けました？」

常次さん 「足りなくなったら困るから130個ぐらい作っておいたよ」



ちなみに製造過程はこんな感じ。顔を一つ一つ作るのが大変だったとか。



それぞれ違う顔のウサヒシューラスク(苺チョコ味)

西松屋スタッフが丹精込めて作ったこのチョコ…ウサヒや役場職員の反応は…

バレンタイン当日…

弟子「師匠！西松屋でウサヒの顔型シューラスク 108 個作って頂きました！」

ウサヒ「なにっ！シューラスクはウサヒの大好物だよ！」



早速、ウサビシューラスクを食べようとする本人

弟子「食べちゃダメ!さ、日頃の感謝を込めて同僚の皆さんに配りましょう!」



同僚・・・というかまずは朝日町長、副町長に感謝を込めて・・・

ウサビ 「(不在だけど置きちゃえ)来年度はウサビがもっと偉くなりますように....」



ウサヒ 「来年度から副町長っていうのもいいな。町ナンバー2！」

弟子 「師匠！町長や副町長が留守だからってやりすぎですよ！」



気を取り直して同僚たちにプレゼント(*当日はテレビ2社・新聞2社の取材も)

ウサヒ 「婚活・定住を担当している伊藤さん、いつもありがとう。頑張ってるね。」

伊藤さん 「3月15日に[フラワーカップリング](#)っていうのをやるから朝日町の独身の方は是非参加してね☆」

ウサヒ 「ウサヒはその日出張だから行けないけど、朝日町の方、是非！」



中にはチョコが貰えた喜びを熱烈ハグで表現する職員も。



こんな感じでウサヒ・弟子で配ってました。

ウサヒ 「みんな喜んでくれたみたいで本当に何よりだね」

弟子 「本当、三日三晩かけて作ってくれた西松屋菓子店に感謝ですよ」

ウサヒ 「みんな、西松屋のシューラスクは美味しいよ！今回のチョコが貰えなかった方も是非食べてみて！」

ウサヒのオススメの食べ方はシューラスクにアイスを入れて食べることだそう。



ちなみに当日西松屋ヒグチバイパス店ではウサヒチョコラスクを販売していました。



ウサヒチョコラスクは即日完売でしたが、シューラスクは通年(夏季を除く)販売

常次さん「チョコ味でもホワイトチョコ味、レモンチョコ味など色々置いています。季節によって色んな種類のシューラスクを販売していますので是非食べ比べてみてください。」

本店・ヒグチバイパス店でどちらでも購入可能。お近くにお越しの際は是非どうぞ。



ちなみに当日の様子は夕方のニュース(SAY・TUY)で放送されました。

山形新聞>>[こちら](#) 毎日新聞>>[こちら](#)

ウサビ 「ホワイトデー沢山返ってくるといいなあ。」

弟子 「いやいや。そういう欲張りな事を考えず、今後もウサビを暖かく見守ってもらえればそれでいいじゃないですか。」

こうして、ウサビの思惑たっぷりのバレンタインデーは幕を閉じたのでした。

【ウサビの担当課(政策推進課)より、本記事をご覧いただいた方へ】

繰り返しとなりますが、本企画のチョコ(ラスク)は、ウサビが自費で用意したもので、

町の税金を使っているわけではありません。

また、本企画自体、町内菓子店の紹介を兼ねた町の話作りとして行ったもので、

職員にチョコを配ることが目的ではありません。

この点につきましてご理解をお願いいたします。